

SALSA GUIDE & PRO MOTO STEM INSTRUCTIONS

(サルサ ガイドステム&プロモトステム取り付け説明)

サルサでは、冒険の意識が人生をよりよいものにする確信しています。自転車は乗り物という枠を超えて、まだ見ぬ場所や会っていない人々、そして素晴らしい体験へと導いてくれる素晴らしいものです。

製品を購入いただいたことに感謝すると共に、あなたの乗車体験がより良いものになることを願っています。

バイクで冒険を〜サルサより

▲警告：サイクリングには危険が伴います。自転車製品は熟練のメカニックによって取り付け、保守点検してもらうべきです。自転車並びにアクセサリの改造は厳禁です。全ての製品の説明書並びに製造メーカーのウェブサイト上の警告を含む情報に目を通し従ってください。乗る前には毎回点検を、ヘルメットは常に着用して下さい。

用途

サルサのステムはハードコアなフリーライディング、エキストリームダウンヒル、ダートジャンピング、スロープスタイル、その他のアグレッシブで過酷な走行を想定していません。激しい滑空後の着地や障害物を走破に時間を費やすことのないようにして下さい。

互換性

▲警告：これらのステムは1-1/8”スレッドレス機構のフォークと使うよう設計されており、他のサイズでは使えません。ねじ切りのステアラーは肉厚を薄くし、スレッドレスステムでは使えません。ねじ切りのステアラーにスレッドレスステムを使うことはステアラーの破損を招き、結果として搭乗者の重傷や死を招きます。

全てのサルサステムは31.8mmのハンドルバー並びにクランプ径用に設計されています。

必要工具

4mm アーレンキー

5mm アーレンキー

トルクレンチ

メモ：古いステムとハンドルバーを外す前に、その古い乗車ポジションが良かったと仮定した場合、バーの角度並びにブレーキレバーとシフターの位置を出来る限り再現出来るようメモしておくといいでしょう。

メモ：古いステムが取り外し可能なフェースプレートを備えている場合、コンポーネントの取り外しは必要なく、単にフェースプレートを取り外してハンドルバーを取り外せば良いだけです。古いステムが取り外し可能なフェースプレートを備えていない場合、ハンドルバーの片側からコンポーネントを取り外し、ステムのステアラーバインダーボルトを緩めます。フォークを支えながら古いステムをステアラーから抜くことで、フォークが床や押しの上に落ちることもありません。フェースプレートが取り外し出来ないステムの場合、ハンドルバークランプを緩めて注意深くハンドルバーを抜いて下さい。

▲警告：ハンドルバーのかき傷や溝は構造統合性を危うくし、破損を引き起こす恐れがあります。

メモ：ステムを組み込む前に、ヘッドセットが適切に組み込まれ、良い状態であることを確認して下さい。ステアラーランプとステアラー、ハンドルバークランプとハンドルバーの接触面は清潔で、ホコリや潤滑材、保持用コンパウンドなどが載らないようにして下さい。

スレッドレスステムの取り付け

1. 製造メーカーの取り扱い説明書に従い、フォークとヘッドセットを組み込みます。
2. ケーブルハンガーの類いや必要な量のスペーサーを最初に組み込み、ステムをステアラーに滑り込ませます。
3. ステムをステアラーに押し込めるだけ押し込み、全ての部品が正しく位置することを確認し、ステムがステアラーを固定するよう一時的に片方のバインダーボルトを締め付けます。
4. ステアラーの上端はステムのステアラークランプの上部より2-3mm低くなる必要があります(図1)。必要な量のスペーサーを入れてもステアラーが長過ぎる場合、ステアラーを切ってスターナットもしくはコンプレッションプラグの位置を直す必要があります。ステアラーが短すぎる場合、ステムにしっかりと取り付けるクランプ面が不十分となります。

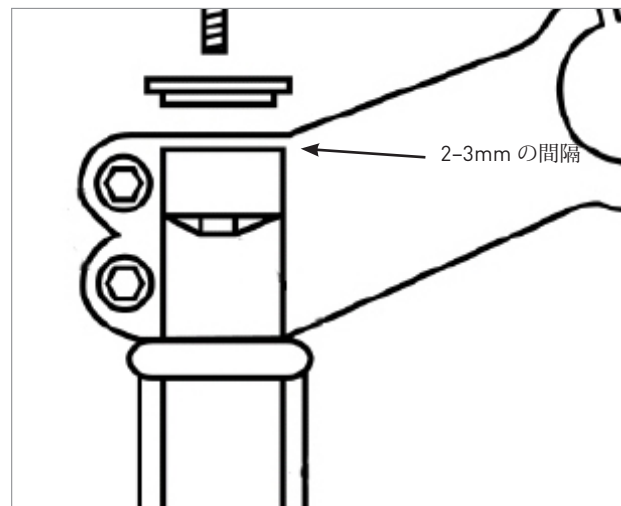


図1

▲警告：ステムがステアラー上に載る量が短いと、ステアラーやステムの破損を招き、結果搭乗者に怪我や死を招く恐れがあります。

5. トップキャップのアンカーボルトにグリースを添付し、トップキャップをステムに載せ、アンカーボルトを挿入します。
6. ボルトをスターナットもしくはコンプレッションプラグに締め込みすぎない程度にねじ込んでいきます。

SALSA GUIDE & PRO MOTO STEM INSTRUCTIONS

(サルサ ガイドステム&プロモトステム取り付け説明)

7. バインダーボルトを取り外し、グリースを添付します。緩めにボルトを入れ直し、締め込まないようにします。トップキャップのアンカーボルトを締め込みながらヘッドセットの製造メーカーが推奨するトルクでもってヘッドセットに与圧をかけて行きます。ステムとホイールの角度を合わせ、ステアラーランプのバインダーボルトをステムの推奨トルクでもって締め込みます。
8. 改めてヘッドセットの遊び具合を確認して下さい。遊びがある場合、ステアラーのクランプボルトを緩めトップキャップのアンカーボルトを1/16回転ほど締め込んで下さい。ステムの角度を合わせ、ステムの推奨トルクで持ってクランプボルトを締め込んで下さい。
9. 適切な調整が出来るまでこの作業を繰り返します。
10. ハンドルバーのクランプボルトを取り外し、グリスを添付します。ステムとハンドルバーの加える部分にバリがないか点検します。ハンドルバーの中央をフェースプレートで軽く挟み、十分保持するまで全てのボルトを締め込んで行きます。センター出しと共にハンドルバーを希望の角度にまわします。左上、右下、右上、左下という流れでそれぞれのボルトを5-8Nの等しい締め込み力になるまで半回転ずつ締め込んで行って下さい。ハンドルバークランプの後部との隙間は上下で等しくなければいけません。
11. 必要があればハンドルバー上のコンポーネントを装着して下さい。

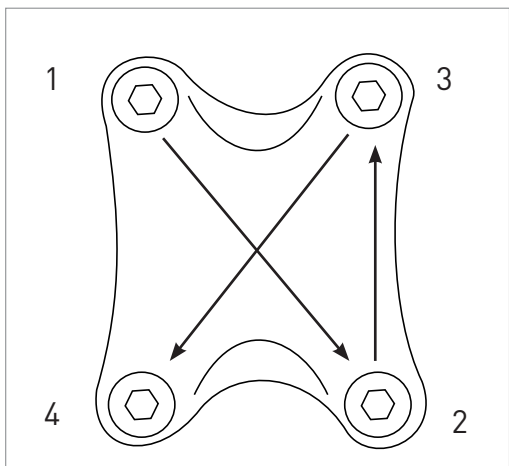


図 2

使用中のお手入れ

定期的にステアラーチューブを啜めるステムボルトとフェースプレートのボルトが正しいトルクで締め込まれていることを確認して下さい。

制限付3年保証

全てのサルサ製フォーク、パーツ並びにコンポーネント

この保証は2014年とそれ以降の新しいモデルの自転車、並びにサルササイクルブランドの製品についてのみ適用されます。他のオリジナルパーツ並びにコンポーネントは製造元の保証に準じたものが適用されます。上記で触れない製品に関してはここでは省略します。

法令の認める範疇において、これらの保証は唯一無二のものであり、他の明示的、目次的保証、コンディションを含む保証、商品性の条件、特定の目的に対する適合性などは存在しません。

2013年以前の自転車並びに製品に関してはオーナーズマニュアルを参照いただくか、適合する保証情報に関してサルササイクルもしくはお近くのサルサ取り扱い店に問い合わせください。

この保証は以下については適用されません：

- 間違った取り付け、追加の手入れ、もしくは技術、能力、経験不足による自身での取り付けによる損傷
- 改造を加えられた、手入れをしていない、競技もしくは宣伝目的で使われた、不正使用もしくは悪用された、事故に巻き込まれた、その他通常使用以外の製品
- サルサ製品と合わせて使うことを想定していない、互換性のないコンポーネント、パーツ、アクセサリーの取り付け
- 表面仕上げのダメージ、悪化、ペイントのダメージに限定されない製品の美的もしくは外観的要素
- 通常使用での損耗
- 自転車の組付けに際し取り外しや再取り付け、再調整にかかる費用
- カーボンペストに起因するカーボンファイバーの損傷

この制限保証はサルササイクルの裁量により、欠陥のある製品に対して修理もしくは交換に明確に限定される、唯一の保証です。この制限保証はサルサ製品を購入した最初の方にのみ適用され、譲渡は出来ません。この制限保証はサルササイクルの正規代理店もしくはディストリビューターを通して購入された製品にのみ適用されます。

サルササイクルはいかなる損失、不都合、直接的、偶発的、間接的もしくは表示に対する不履行、黙示的保証、状態の結果として生じる損害、特定の目的のための適合性やここに述べられる以外の製品への考慮といった商品面に対しても支払いの義務を負いません。この保証は消費者に対して特定の法的権利を与えます。これらの権利は他の権利同様地域によって異なります。この保証は法律に基づく権利を侵害しません。

SALSA CYCLES

6400 West 105th Street, Bloomington, MN 55438

Tel: 877-MOTO-ACE Fax: 952-983-6210

www.salsacycles.com

5992 12/13

追加の製品並びに安全情報はsalsacycles.com/safetyを参照ください。